

* 修了評価の方法

【添削指導及び面接指導の指導方法】

学習方法：学科レポートを自宅学習にて行う。学科レポート（提出4回）は期限を設け、通学時に提出する。

添削指導：理解の状況等を確認する為、学科レポート採点基準を70点以上合格と定め、基準に満たない者へは再学習の上で再提出を求める。合格点に達するまで再提出を続けることとする。

面接指導：上記、添削指導により講義内容の理解状況を確認する。状況に応じ、講師による面接指導を実施し、理解不足な点を補う。

【スクーリング】

各科目別に定める修了時の評価ポイントに沿って各受講生の知識・技術等の習熟度を確認する。なお、カリキュラム「9 ところとからだのしくみと生活支援技術」内において、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価を、実技試験も併せた方法により実施する。知識・技術等の習得状況を確認した結果、評価基準を満たしていない場合は、必要に応じて補講等を行い再評価するなど、基準に到達するよう努める。

【修了の認定】

修了認定は、全科目出席、全通信課題提出を条件とし、筆記試験により実施。評価基準は、次のとおり、理解度の高い順にA・B・C・Dの4区分とし、C以上で評価基準を満たしたものと認定する。なお、不合格の場合は、別途実施する補講に出席し、再度修了試験を行う。費用については、2000円/hとする。

認定基準（100点を満点評価とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満